

第3章

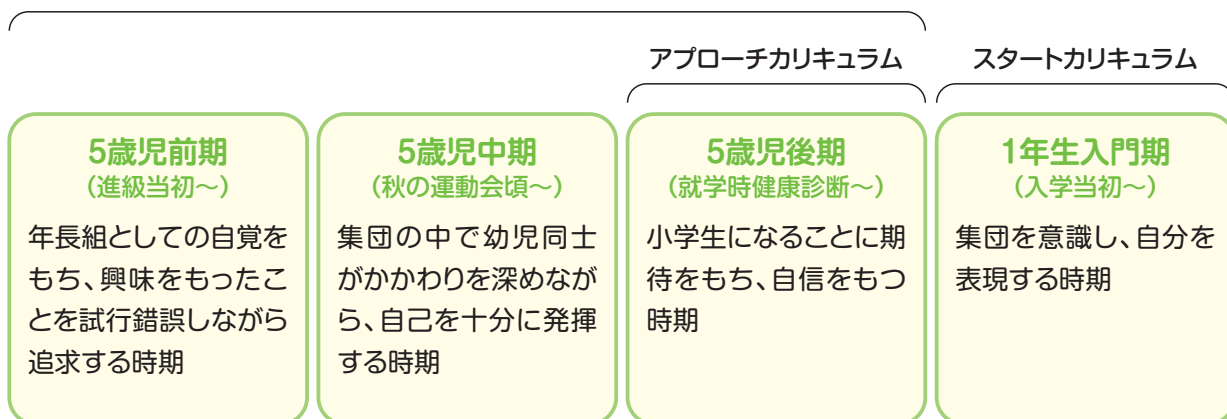
小学校入学前 教育カリキュラム

1 小学校入学前教育カリキュラム

5歳児後期から保育園・幼稚園修了までをアプローチカリキュラム、小学校第1学年入学当初から1学期頃までをスタートカリキュラムとしました。そして、アプローチカリキュラムを含む5歳児のカリキュラムとスタートカリキュラムをつなぐカリキュラム全体のことを、「小学校入学前教育カリキュラム」と位置付けました。(下図参照)

小学校入学前教育カリキュラム

5歳児のカリキュラム



アプローチカリキュラムとは、幼児期の育ちと学びを小学校教育につなげるために作成する、5歳児後期(就学時健康診断以降から修了まで)のカリキュラムです。本カリキュラムの内容は、港区のスタンダードとして、どの保育園・幼稚園・小学校でも、どの環境においても、身に付けさせたい内容であると考えています。

小学校のカリキュラムを先取りするものではなく、また、決まった活動を順序よく行うものではありません。幼児期に、小学校の学びの基盤となる経験ができるよう、幼児期にふさわしい内容とするため、発達の段階の違いからくる「遊びの中での学び」と「各教科など授業を通じた学習」という学び方の違いを理解し、幼児期の教育の特徴を生かしたカリキュラムにすることが重要です。

(1) 保育園・幼稚園で身に付けさせたい内容

5歳児前期から5歳児後期までの各期における保育園・幼稚園で身に付けさせたい内容を、「三つの力」を視点に具体化しました。

「三つの力」とは、**生活する力**、**発見・考え・表現する力**、**かかわる力**です。

幼児に「身に付けさせたい内容」が身に付いているかを評価し、自分の指導を振り返る指標にもなります。また、小学校との連続性を見通した指導が展開できるよう、小学校入門期(4～5月)も載せました。(P19参照)

(2) 5歳児のカリキュラムの作成におけるポイント

保育士や教員が活用しやすいように、前期（4月）、中期（11月）、後期（2月）を例として示しています。各園ですでにある教育課程・保育課程、年間指導計画等の見直しや具体的な指導の内容とするための参考としてください。

作成にあたって、以下の5点をポイントとしてあげました。

5歳児のカリキュラムの作成におけるポイント

①身に付けさせたい内容

具体的な視点を設定する。

<生活する力における具体的な視点は…>

- 自分のことは自分でする
- 健康で安全な生活をする
- 体を十分に動かし、進んで運動しようとする

<発見・考え・表現する力における具体的な視点は…>

- 好奇心や探究心をもってものとかかわる
- 感じたこと・考えたことを言葉で伝える
- 文字や数量などの感覚を豊かにする

<かかわる力における具体的な視点は…>

- あいさつをする
- 人とかかわる
- きまりや約束を守る

②家庭との連携

保護者への働きかけの内容を、「三つの力」に対応させて明確にする。

③具体的な指導上の留意点

その時期の大切な指導のポイントを明確にする。

④環境の構成の工夫

環境の構成の工夫について、特におさえておきたい内容を示す。

⑤具体的な活動の例

具体的な活動がイメージできるように例示する。

（ただし、幼児の実態や、興味・関心に応じた活動となるようにすること）

保育園・幼稚園で身に付けさせたい内容

5歳児前期

年長組としての自覚をもち、興味をもったことを試行錯誤しながら追求する時期

5歳児中期

集団の中で幼児同士がかかわりを深めながら、自己を十分に発揮する時期

生活する力

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------------------|--|---------------------------|----------------------|----|--|---------------------------|----------------------------|-----|-----|
| 自分のことは自分でする | ○生活の流れや準備・片付けの手順などを意識して、一定の時間内に終わようとする | ○着替えや持ち物の始末を自分でする | ○遊んだ後の片付けを自分から気付いて行う | | ○一日の流れに大まかな見通しをもち、時間を意識しながら友達と声をかけ合って生活をする | ○自分の所持品の整理や脱いだ服の始末を丁寧にを行う | ○必要性を感じて、園や学級の共同・共有の物を片付ける | | |
| 健康で安全な生活をする | ○進んで戸外に出て多様な動きを楽しむ | ○遊具や用具の使い方が分かり、安全に気を付けて遊ぶ | | | ○ルールのある遊び、集団での遊び、いろいろな運動遊び（マット、鉄棒等）を楽しむ | ○危険な場所が分かり、安全に気を付けて行動する | | | |
| 体を十分に動かし、進んで運動しようとする | ○食べることの楽しさが分かり、食べ物に関心をもつ | | | | ○様々な食べ物への興味や関心をもって、進んで食べようとする | | | | |

発見・考え・表現する力

| | | | | | | | | | |
|--------------------|---------------------------------|---|--|--|--|--------------------------------------|--------------------------|--|--|
| 好奇心や探究心をもってものとかかわる | ○身近な自然に触れて遊び、日本の自然の美しさや不思議さを感じる | ○自然物や自然の事象を遊びや生活の中に取り入れ、考えたり工夫したりして遊ぶ | | | ○身近な環境に積極的にかかわり、秋の自然物等を取り入れて遊ぶ | ○物の仕組みに関心をもったり、試したり確かめたりして遊ぶ | | | |
| 感じたこと・考えたことを言葉で伝える | ○思ったことや経験したことをいろいろな方法で表現する | ○園の仕事（誕生会の係など）を受けもち、大勢の前で発表する | | | ○友達と遊びや生活の中でイメージや目的を共有し、思いや考えを言葉で伝えようとする | ○感じたことや考えたことを言葉で表現しようとする | ○先生や友達の話を注意して聞き、理解しようとする | | |
| 文字や数量などの感覚を豊かにする | ○絵本や物語を通してイメージを膨らませて遊ぶ | ○遊びや生活に使う簡単な標識や文字、数量（大小、高低、長短、軽重等）に興味をもったり、生活や遊びに取り入れたりする | | | ○物語や話の続きに興味をもち、学級の友達と楽しんで聞く | ○絵本や物語の世界を楽しみ、感動を味わったり、イメージを豊かにしたりする | ○遊びや生活の中で、文字を読んだり、使ったりする | ○順番や勝敗のある遊びを通して人数、物の数を数えたり、物の量を比較したりする | |

かかわる力

| | | | | | | | | | |
|-----------|------------------------------|-----------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| あいさつをする | ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう | ○自分の気持ちとは異なる友達の気持ちに気付いたり、受け止めたりする | | | ○友達と互いに考えを出し合ったり、尊重したり、折り合いをつけたりしながら遊びや活動に取り組む | ○グループの友達と役割分担をしたり、協力したりして話し合いながら活動を進める | | | |
| 人とかかわる | | | | | | | | | |
| きまりや約束を守る | ○友達と生活する中で、きまりの大切さに気付く守ろうとする | | | | ○集団の中でのきまりや約束を守り、生活する | | | | |